

# 日系企業の州経済・雇用への貢献や技術開発の取組、課題の共有等を行うラウンドテーブル 【在デトロイト総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2023年11月30日(水)
- 実施場所: オハイオ州アクロン市
- 訴求対象: 自治体、地域経済開発公社等
- 開催規模: 45名

## 概要



- **北東オハイオ市長会 (MAPSS) 及び日本貿易振興機構 (JETRO) シカゴ事務所と協力し、北東オハイオ地域の市長・郡長、地域経済開発公社、商工会議所等を招いた日・オハイオ経済交流イベント**を開催。
- 会議プログラムでは、**ベロテランMAPSS事務局長、シャピロ・サミット郡長、ジャッジMAPSS会長**及び小川在デトロイト総領事館首席領事の挨拶に続き、JETRO根本所長、北東オハイオ経済開発公社及びアクロン経済開発公社並びに**ドルフィ米州ブリヂストン上級副社長**を始め**日系企業6社**からプレゼンテーションを実施。
- 各市長からのコメントの後、米州ブリヂストンと協力し、同社の**アメリカス・テクノロジー・センターのツアー**を実施。

## 効果



- イベントには上記要人を含む45名が出席。**州内及び同地域における日系企業の事業拡大、雇用創出、地域貢献等の状況が共有され、関係構築の重要性が示された。**
- ジャピロ郡長より、**日米経済の互惠関係を発展**させるものとして感謝の意が示された。
- 出席者へのアンケートでは、イベントの満足度並びに**日系企業への理解度及び好感度**のいずれも**平均4.5/5以上の評価**が得られ、今後の同種イベントへの参加希望や好意的なコメントが寄せられた。

## 特記事項



- **米国自動車産業のサプライチェーン再構築における日米連携のため、自動車関連産業を含む複数の日系企業の事業に関するプレゼンテーション**を実施した。

## 日時等



- 実施日時: 2023年6月23日(金)
- 実施場所: コロラド州デンバー市
- 訴求対象: 日米及び日・コロラド間のビジネスに関心を有するコロラド州の企業関係者、日系企業関係者及びコロラド州政府、デンバー市政府関係者
- 開催規模: 約80名

## 概要



- 総領事館、IBC Circle、コロラド日米協会の共催で、JETROロサンゼルス事務所、コロラド州政府、デンバー市政府等の協力を得て、本年3月の**ポリス・コロラド州知事**(経済ミッション同行)及び**ハンコック・デンバー市長訪日のフォローアップ**を行うとともに、コロナ禍で停止していた**成田・デンバー直行便の再開**(直行便就航10周年)や、日・コロラド間の経済・観光分野等における交流が活発化し、日本への関心が高まっている機運を捉え、対面で開催。
- セミナーでは、コロラド州政府、デンバー市政府、JETROロサンゼルス事務所、コロラド日米協会、サクラスクエア、企業関係者が、**日・コロラド経済関係や州知事及び市長訪日フォローアップに関するプレゼンテーション**と質疑応答を実施。
- セミナー後、ビル・ホソカワ記念盆栽パビリオンでネットワーキングイベントを開催し、政府、企業、大学関係者等80名が参加。(※ビル・ホソカワ氏は、戦時中、ワイオミング州トパーズ強制収容所に収容され、戦後、デンバー・ポストで編集を行う傍ら、日系人の強制収容を扱う書籍等を出版し、現地日系人の伝説的指導者たる人物)

## 効果



- 日・コロラドの政府及び企業関係者が、日・コロラドビジネス関係に対する理解を深め、**今後のビジネス機会創出・拡大に向けた機運を醸成**することができた。
- ネットワーキングイベントは、相互の関係構築や今後の**日コロラド双方向のビジネス機会の創出・拡大**をする上で、**有意義**であった。
- セミナー参加者80名のうち、約半数がアンケートに回答し、うち**83%**が**日本に対する好感度が非常に高まったと回答**するなど、高い評価を得た。

## 日時等



- 実施日時: 2024年3月11日(月)
- 実施場所: コロラド州ボルダー市
- 訴求対象: 日コロラド間のビジネスに関心を有するコロラド州の企業関係者、日系企業関係者、コロラド州政府・デンバー市政府関係者、大学教員・学生等
- 開催規模: 92名(イベント後のYouTube発信あり)

## 概要



- 在デンバー総領事館とコロラド大学ボルダー校リーズスクールとで対面のビジネスセミナーを共催。
- **JETROロサンゼルス事務所**から、JETROによる各種イベントの開催、**スタートアップ企業への支援**、**水素や航空宇宙**を含む様々な分野での協力促進等を通じて日コロラド間の経済関係の強化を図っている旨説明。パネリストの**コロラド州政府貿易専門官**から、2023年の**ポリス州知事の訪日の成果等に関するプレゼン**。各企業・団体から、**高技術セラミックス**、**スマートモビリティ**、**畜産業**、**医療**の様々な分野で日コロラド間の経済関係強化に貢献している旨プレゼンがあり、活発な質疑応答が行われた。
- セミナーに引き続き、**ネットワーキングレセプション**を開催。

## 効果



- セミナー及びレセプションでの交流を通じて、日コロラド間の**ビジネス関係の機会創出・拡大に向けた機運を醸成**することができた。
- 従来から日コロラド関係に関心を持つ聴衆に加えて、大学院レベルのビジネススクールとして全米トップ3%にランクインする**リーズスクールの学長、教授陣及び将来有望な学生**に対して、日コロラド経済関係の強化に係る議論を発信するとともに、同地域における雇用創出を担う日本企業の活動をPRできたことは有益であった。

## 特記事項



- JETRO及び各企業のプレゼン、並びに質疑応答を通じて、バイデン政権が重視する**気候変動**、**エネルギー**、**科学技術**等の分野における**日コロラド間での協力の可能性について印象づける**ことができた。

## 日時等



- 実施日時: 2023年9月29日(金)
- 実施場所: テネシー州ジャクソン市
- 訴求対象: 州議員、連邦議員事務所関係者、地域経済関係者等
- 開催規模: 30名

## 概要



- ジャクソン広域商工会との共催で、地域の政治経済関係者、日米企業関係者を集め、経済関連の草の根交流事業を実施。
- **米韓の大型EV関連プロジェクトが進むジャクソン市と周辺地域において、現地における日系企業の経済的貢献を改めて確認し合う機会を創出。**
- 現地に進出予定のEV及び車載電池のサプライチェーンに大きな影響力を持つ2つの米系企業から講師を招き、現地でのプロジェクト進行状況等について説明を得、日系企業に対し、地域の動向等、有益な情報提供の機会を提供した。
- 昼食会で参加者同士の交流やトヨタ・マニファクチャリング・テネシー社の視察も行った。

## 効果

- 大型EV関連プロジェクトが進行中の現地において、地域の政財界関係者と共に**日系企業による貢献を改めて確認**することにより、**日系企業の支持層を固め、日米経済を草の根から強化。**
- 日系企業にとって、採用・人材開発面で商工会の支援・ネットワーク等を活用する等、地域からのより手厚いサポートを得ることが有益であり、商工会との関係強化の意義は大きく、総領事館と商工会による**共催事業の実施を通じ、両者間の関係の再構築につながった。**
- 日系企業関係者は、州内の自動車産業の協働コンソーシアムについて、米系企業と意見交換する貴重な機会をもらったとコメントし、労働力開発等、**地域の日米企業が協働し、地域の共通課題に取り組む方向性を後押し**する事業となった。
- 同地文化事業への総領事館からの協力の可能性についても話し合われ、**草の根交流を発展させていくきっかけ作り**ともなった。

# 産学官意見交換会（日系企業における日本語学習者の活用） 【在ナッシュビル総領事館】

## 日時等

### 産学官意見交換会

～日系企業における日本語学習者の活用に向けて～

2023年9月21日(木)  
在ナッシュビル総領事館

- 実施日時：2023年9月21日（木）
- 実施場所：テネシー州ナッシュビル市
- 訴求対象：テネシー州経済開発庁、州内大学日本語教育関係者、日系企業関係者
- 開催規模：28名

## 概要

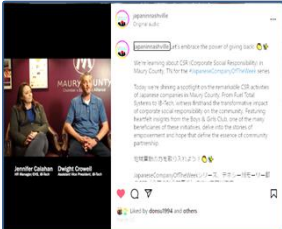
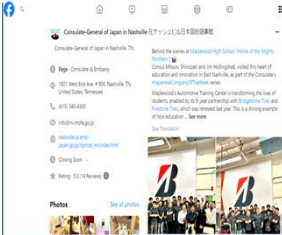


- 州内7大学の日本語教育関係者、**日系企業関係者、テネシー州経済開発庁及び在ナッシュビル総領事館の「産学官」**が集まり、**日系企業における日本語・日本文化学習者の活用を目指し、関係構築及び連携強化のための意見交換会を実施した。**
- 第1部では、産学官から4名の講師が、日系企業の貢献及び地域経済動向、日系企業での日本語・日本文化学習者の活用事例及び日系企業と大学の連携事例等について説明した。
- 第2部では、大学、企業双方の現状、課題、ニーズ等を共有し、具体的な協力や連携に向けて意見交換を行った。

## 効果

- 大学及び企業の双方のニーズの合致を確認できたことを受け、**日系企業による大学訪問や日本語履修者の日系企業訪問、インターン生受入希望企業情報や大学内キャリアフェア情報の日系企業への展開等、事業実施後も今後の協力に係る具体的な調整が促進されており、安定的な人材獲得における日系企業の競争力の強化に繋がる取組となった。**
- 地域の有識者層との交流があり、若年層への発信力も有している大学教員の**日系企業の貢献に対する理解度を高め**、当該教員を通じ、日系企業にとっての日本語・日本文化の学習者の需要が明確化され、教育現場の良好な環境維持に繋げていくことで、**大学内外へ発信効果**も期待できる内容となった。
- 日系企業の拠点数が多い一方、日本語学習者が比較的少ないテネシー州において、既に日本への興味関心を持つ日本語・日本文化学習者を日系企業での就業に繋げ、**草の根からの日テネシー州経済関係の強化の足がかり**を作ることができた。

## 日時等



## 概要

- 実施日時: 2024年2月～3月
- 実施場所: 総領事館公式SNSアカウント
- 訴求対象: 米国内の一般市民
- 訴求規模: リーチ(閲覧数)24,505件

- **現地の日本企業は、地域の経済発展や雇用創出等、経済的な貢献のみならず、地元の学校との連携やコミュニティへの寄付を通じ、人材開発や青少年育成に寄与している。また、地域の文化行事等への参画を通じた文化・人的交流による草の根からの相互理解を促進している。**
- 米国内の「良き企業市民」として様々な形で地域に貢献している**日本企業の活動を取材**するとともに、当該貢献による受益者を含め、関係者にインタビューを実施。
- **総領事館の公式SNSに、取材内容や写真、動画を投稿し、日本企業の地域での貢献を広く米国一般市民に周知した。**

## 効果

- 投稿に対し、**リーチ(閲覧数)24,505件、インタラクション数**(「いいね!」、コメント、保存及びシェア数)401件、ビデオの再生回数10,564件を得た。
- **日本企業による地域貢献に対する認識を高めるとともに、多義的な日米経済関係の重要性について理解を促す取組となった。**
- さらに、総領事館のSNSから発信することにより、**他企業の同様の取組を後押し**することができたと考えられる。

# ノックス・アジアン・フェスティバルでの草の根からの 日米経済関係強化 【在ナッシュビル総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2023年8月25日(土)
- 実施場所: テネシー州ノックスビル市
- 訴求対象: 地域政財界要人、一般米国市民
- 開催規模: 75,000名

## 概要

- 在ナッシュビル総領事館管轄内で最大の国際文化事業であるノックス・アジアン・フェスティバルにて、同フェスティバル主催団体と当館で**VIP昼食会**を共催。**ノックスビル市長、商工会会長、市議会議員、教育機関関係者、地域要人、日米スポンサー企業幹部等、約50名**が参加。総領事の挨拶で、テネシー州で1970年代から日系企業が進出し、現在200拠点以上で6万人以上の雇用を創出している**強固な日・テネシー州経済関係**について言及。
- 総領事館のブースでは、**日本からの直接投資や雇用創出数等を含む日・テネシー州経済関係をパネルで紹介**。また、**大阪・関西万博と訪日観光促進の広報活動**を実施し、動画放映、ポスター展示、紙パンフレット配布、QRコードによる電子パンフレットを配布した。また、日本の景色のバックドロップ(垂れ幕)を設置した写真撮影ブースを設け、参加者のSNS発信による波及効果を図った。
- フェスティバル前日には、総領事が**スポンサー企業を訪問**。**地域での日系企業の存在感を高め、「良き企業市民」として地域社会と共存する姿勢を示す日系企業の取組**を総領事館として**支持表明**する機会を創出した。

## 効果



- VIP昼食会は、**地域政財界要人との人脈形成、関係を深める機会**となり、テネシー州内の**日系企業による地域社会・経済への貢献や日米経済関係の重要性**につき、**参加者の認識を高める**ことができた。
- 総領事館のブースでは、関係機関からの提供コンテンツにより集客力を高め、**大阪・関西万博と訪日観光促進に向けた効果的な広報活動**を実施することができ、**日米経済交流の活性化に繋げる**ことができた。

## 日時等



- 実施日時: 2023年5月13日(土)
- 実施場所: ニューヨーク(NY)市
- 訴求対象: NY市民、企業関係者、政治・行政関係者
- 開催規模: 5万人余(NYPD発表/去年は2万人)

## 概要

- 毎年5月は、「Asian/Pacific American Heritage Month」であり、これに合わせて行われる「**ジャパン・パレード**」において、**日米経済連携推進の観点から日本のコンテンツ産業についてハイライトするとともに、日系企業と連動した出し物を実施。**
- 開会式及びVIPスタンドには、**アダムスNY市長の初参加に加え、約10名の州や市の地元政治家、企業幹部、学術・文化有識者等を招待。**
- 昨年を上回る99ユニット、約2,500名がセントラルパーク・ウェスト81丁目から67丁目にかけて行進。特別ゲストとして**現地でも高い人気を誇るアニメ「ナルト」の2.5次元ショー**や、定番キャラクターとなった**ハローキティも参加し、日本のコンテンツ産業の厚みを来場者に訴求。**
- 日本食屋台23店舗が参加したストリートフェアでも日本の地域振興・食産業のPRとともに、日系企業によるサンプル配布を実施。
- パレードでは、別途企業により提供された山車11台や、企業広告を流すLEDトラックも4台が走行。

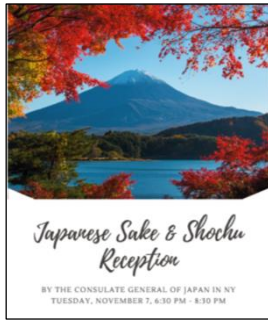
## 効果

- **全米三大ネットワーク(ABC・CBS・NBC)、公共放送(PBS)、FOX及びNY1(地元有力CATV)等の多くのテレビ、ラジオ並びにオンラインニュースにてパレードの様子が報道された。**
- **計95社・団体が協賛し、多数の日本企業が山車やマーチング、サンプル配布やロゴ掲載等の多彩なPR・広告を展開。報道等の効果により広告効果はより増幅された。**



# 日本産酒類(日本酒・焼酎)レセプション・ネットワーキングイベント 【在ニューヨーク総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2023年11月7日(火) 16:30~20:30
- 実施場所: ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象: 酒・飲食事業者及びニューヨーク金融関係者等
- 参加者: 123名(事前登録158名)

## 概要



森ニューヨーク総領事  
からの挨拶



Brooklyn Kura・  
Timothy Sullivan氏による  
Sake Education Centerの  
PRスピーチ



Dassai USA・桜井博会長による  
新設のNY酒蔵のPRスピーチ

- 第1部では、現地でのB to Bの商流拡大を目的に、酒・飲食関係者を招待して日本産酒類メーカーとのネットワーキングの機会を提供し、第2部では、これに加え、現地金融関係者等を招待し、B to Cでの日本産酒類のPRを行うレセプションを開催。
- レセプション開催に当たり、森ニューヨーク総領事(大使)の挨拶に続き、**本年現地で大きな事業展開があった2つのベンダーによるPRプレゼンを実施。**
- イベントを通じて、**ニューヨークを含む米国内に拠点を有する清酒及び焼酎のメーカー(8社)が出展し、会場内に業者ごとのブースを設け、参加者が自由に立ち寄り、試飲可能な形式で開催。また、焼酎のPRのため、現地のバーテンダーが焼酎の新たな飲み方として焼酎カクテルを提供した。**

## 効果



イベントに御協力いただいた  
8つのベンダー

- アンケート結果からは、**イベントの満足度について、回答者の95%以上が5段階中4以上と評価。**また、「日常生活において日本酒や焼酎を飲みたいと思うようになったか」という質問に対しては、回答者の約8割が5段階中4又は5をマークしており、**日本産酒類に対する印象を大きく向上させた**と考えられる。
- 自由記載欄では、第1部・第2部両方の参加者から、**「素晴らしいイベントであった」、「ベンダーや他の参加者との良いネットワーキングの機会となった」といったコメントが寄せられ、2部制として実施したことによる相乗効果が伺えた。**
- 加えて、**金融関係者から個別のベンダーへの支援を検討しているとの回答もみられるなど、第2部では消費者向けのPR以上の効果が得られた。**

## 日時等



- 実施日時：2023年6月12日（月）
- 実施場所：ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象：在ニューヨーク及びニューヨーク近郊の投資家・金融機関（投資ファンド・大手銀行等）
- 参加者：89名（事前登録：105名）

## 概要



(廣川課長)



(安藤課長)

- 今般、投資家の関心の高い「公正な買収の在り方に関する研究会（事務局：経済産業省）」が策定する企業買収における指針案のパブコメが実施されたことに加え、金融庁から「コーポレートガバナンス改革の実質化に向けたアクションプログラム」が公表されたところ、現地の投資家・金融機関向けに、**日本における買収及びコーポレートガバナンスに関するセミナー**を実施。
- 金融庁企画市場局企業開示課の廣川齊課長及び経済産業省経済産業政策局産業組織課の安藤元太課長が**プレゼンを実施**した後、**参加者との質疑応答**が行われた。

## 効果



(プレゼンの様子)



(質疑応答の様子)

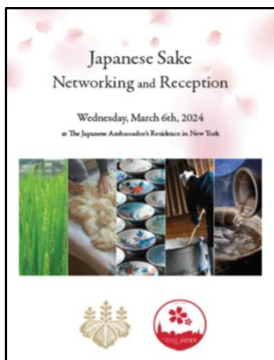
- 参加者との意見交換では、多くの質問が出たため、所要時間は**当初予定の1時間半を上回る2時間15分（うち質疑応答90分）**と盛況を博した。
- セミナー終了後のアンケート結果では、セミナーの満足度について、**5段階中（5が最高評価）で平均4.4**となり、「セミナーを通じて**日本政府が意欲的に今回のトピックに取り組んでいることを理解**することができた」、「長時間の質疑応答の際、**スピーカーは熱心に質問に回答し、非常に参考になった**」等、セミナー内容を高く評価する声が多く寄せられ、満足度の高いイベントとなった。

## 特記事項

- 本セミナーを通じて、日本政府の重要政策の一つであるコーポレートガバナンス改革等を情報発信することで、**日本へ関心を高め、日米経済強化につながる機会**となった。

# 日本産酒類の和洋食のペアリング ネットワーキングイベント 【在ニューヨーク総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2024年3月6日(水) 16:30~20:00
- 実施場所: 在ニューヨーク総領事・大使公邸
- 訴求対象: 日本産酒類関係者及びニューヨークの金融関係者等
- 参加者: 約100名

## 概要



森ニューヨーク総領事  
からの挨拶

- 本イベントでは、「多様な料理とのマッチング」をテーマに、特に清酒と和洋食のペアリングに焦点を当てて日本産酒類の魅力のPRを行った。
- 具体的には、各銘柄を特性や風味によって4つのタイプに分類し、それぞれとお酒と合う和洋のペアリング料理を紹介。併せて、当日リーフレットにおいて、当日の料理と合うお酒のタイプを紹介し、理解を深められるように工夫。
- イベントは2部制で実施。第1部では、**現地の日本産酒類関係者を招待し、事業者間のネットワーキングの機会を提供**。第2部では、これに加え、現地の**金融関係者等を招待し、一般消費者への一層の普及・促進に向けたレセプションを開催**。



Miss Sake USAの資格を持つ  
Ms. Jessica Jolly氏による  
当日の銘柄の説明

- 約40名の日本産酒類関係者及び約60名の金融関係者に対し、森ニューヨーク総領事及び総領事館職員が応接・コミュニケーションを図ることで、**日本への関心を高めつつ、米国経済界とのつながりを深めることが出来た**。
- 事後アンケートでは、日本に対する印象の変化に関して、**回答者の約93%が5段階中5と評価するなど、現地金融関係者等の日本に対する印象の向上に大きく貢献したことがわかる**。
- また、自由記載欄では、「金融関係者を中心に、他の参加者とのネットワークを広げることが出来た」、「ブースの専門家のペアリングの説明が良かった」など、好意的なコメントが多数見られたほか、当日会場において酒類関係者間等で活発なネットワーキングが見られた。

## 効果



当イベントに協力いただいた  
ベンダー・サポーターの皆様

# 日本食×インバウンド観光の促進を目的としたプロモーション事業 【在ニューヨーク総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2024年2月15日～3月14日
- 実施場所: ニューヨーク市内レストラン
- 訴求対象: 一般消費者

## 概要



- ALPS処理水放出の影響を踏まえた日本産水産物の新たな輸出先確保や、訪日観光客の地方への誘客が求められている現状を踏まえ、**米国における日本産水産物の消費を喚起するプロモーションイベント**を実施するとともに、**当該イベントを通じて日本の地方へのインバウンド観光への関心喚起**を図った。
- 協カレストラン12店舗において、日本産水産物を活用したメニューを提供。その際、様々な地方の水産物を用意。
- **消費者が日本産水産物を使った料理を楽しみつつ、産地についての理解を深める**ことができるよう、店舗で提供する水産物とその産地を紹介するブローシュアを作成し店舗で配布するとともに、JNTOの**特設ページ**を開設し、**各地の観光情報を紹介**。
- JNTO、店舗等SNSを活用した情報発信。



## 効果



- 高価格帯から中価格帯までの日本食レストランに協力を依頼し、日本に関心を有する消費者層をターゲットにしたことにより、日本産水産物の消費喚起やインバウンド観光に繋がる効果的なPRができた。
- 本事業で用意した特別メニューを通常メニューに採用する店舗があり、日本産水産物の消費拡大に繋がった。
- **食と観光という日本の強みを組み合わせることで米国人に日本への理解を深める機会を提供することにより、中長期的な日米経済関係の強化に貢献**することができた。

## 日時等



Celebrating Japanese  
Investment in West  
Virginia

Wednesday, November 29  
Time 15:00 EST  
State of West Virginia  
Cultural Center  
1800 Kanawha Boulevard, E  
Charleston, West Virginia  
25302  
Please click below to  
register.

Join Japanese Ambassador Mikio Mori,  
Consul General of Japan in New York,  
Japanese External Trade Organization  
(JETRO), the West Virginia Department of

- 実施日時: 2023年11月29日(水)
- 実施場所: ウェストバージニア(WV)州  
チャールストン
- 訴求対象: チャールストン近郊の米国人等
- 開催規模: 120名

## 概要



- **新設のチャールストン名誉領事へのラリー・レクター弁護士**の就任を記念して、在ニューヨーク日本国総領事館・JETROニューヨーク事務所・WV州経済開発省の共催で「WV州と日本の経済交流の現状と未来」と題したビジネス・フォーラムを実施。
- 森ニューヨーク総領事(大使)が挨拶。JETROニューヨーク事務所三浦所長、WV州経済開発省スティーブ・スペンス国際局長、トヨタ自動車WV工場バリー・ピアソン部長によるプレゼンテーション、ウエストバージニア大学ジョン・デスキンス准教授を交えたパネルディスカッションを実施。
- **マック・ワーナーWV州務長官が名誉領事就任式で挨拶**。ビジネス・フォーラム、レセプションにも参加。

## 効果



- **WV州における日本企業の活動と州経済への貢献や今後の展望について、州内に広くアピール**することができた。
- フォーラム後のレセプションには約120名の参加が得られ、レクター新名誉領事はじめ在ニューヨーク総領事館や現地日系企業関係者と、**現地の政・財・官・学界要人との関係構築**を図ることができた。

## 特記事項



- **マック・ワーナー州務長官の出席**も得られ、WV州に進出しているトヨタ自動車はじめ**日本企業の認知度向上やネットワーク形成、サプライチェーン強化**における日米連携事例の強調に資することができた。

## 日時等



- 実施日時: 2023年9月29日(金)
- 実施場所: テキサス州フリスコ市
- 訴求対象: ダラス近郊主要都市の経済開発担当者、地域の有力日米企業関係者等
- 開催規模: 約70名

## 概要



- 日系自動車の北米本社が拠点を置く地域において、エネルギーとモビリティに関する日米連携の可能性を探る講演会を初開催。
- 村林総領事はスピーチで、テキサス州では近年日系企業数が大きく増加している等**同州における日本企業の貢献を紹介した上で、同州が日本のエネルギー安全保障やモビリティ分野にとって大変重要な地域となっていることを強調。**
- 講演会は、EV転換が起きている時代に日系内燃機関自動車メーカーがイノベーション加速に向けて**注力している領域や米国新興企業に対する投資事例を発信するとともに、日米両国が直面している「物流」課題解決に向けた取組等も紹介。**

## 効果

- **日系自動車の北米本社が拠点を置く地域の各市当局及び日米ビジネス関係者に対し、エネルギーとモビリティ分野における日米の最新動向や日米連携事例を紹介する機会を創出することができた。**
- 参加者アンケートでは、**5段階評価の満足度で4以上とした者が8割を超えた。**参加者からは、日本のベンチャーキャピタルの支援が印象に残った、業界の様々な専門家やイノベーターから話を聞くことができてよかったとの声が聞かれた。

## 特記事項



- テキサス州における日本企業の貢献のアピールや、日本企業が投資を通じて米国新興企業と協働しイノベーションに取り組んでいることを紹介したことで、日米連携の重要性を印象づけた。

# ジャパン・フェスティバル・ヒューストンを通じた日米経済関係強化 【在ヒューストン総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2023年5月6日(土)、7日(日)
- 実施場所: テキサス州ヒューストン市
- 訴求対象: ヒューストン地域の一般米国人
- 開催規模: 約30,000名
- 協力団体: ヒューストン日本商工会(JBAH)

## 概要



- ジャパン・フェスティバル・ヒューストンは、5月の2日間、ヒューストン中心部に近いハーマンパーク公園において毎年開催されてきており、ヒューストン地域の米国人が日本の文化や日本食を楽しむ大規模なイベントとして、約30,000名が参加している。
- 今回、同フェスティバル30周年を記念し、JBAHとの協力により、メイン・イベントとして、日本の人気音楽グループ「民謡クルセイダーズ」の公演を行った。
- また、子ども向けお祭り体験イベント「JBAHキッズ縁日」(金魚すくい、ヨーヨー釣りなど)を実施した。
- さらに、**日本企業PRブースにおいて、ダイキンや全日空などが、製品・サービスの展示・紹介**を行った。
- 開会式においては、JBAH会長から、日本企業が**ヒューストン地域の経済に多大な貢献を行っていることを説明**した(ハーマンパーク内の日本庭園の維持管理のために、6,000ドルの小切手も贈呈)。

## 効果

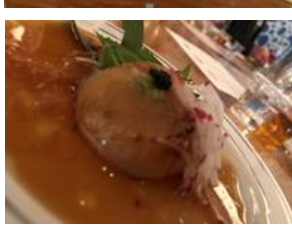
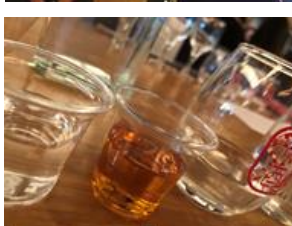
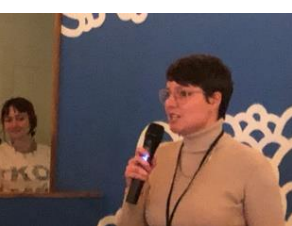


- 会場には、同フェスティバルに協力した日本企業やJBAHのロゴも広く掲示されるなど、ヒューストン地域における日本企業の存在や貢献が目立つイベントとなり、**日米経済関係の深い結びつき**を印象づけた。
- アンケートにおいて、**日本の肯定的な印象につながったかとの設問で、対象者の56%が「非常に」と回答**した。特に、民謡クルセイダーズの演奏について、82%が「非常に満足した」と回答し、高い評価が示された。

## 特記事項

- 日本企業の製品を紹介しつつ、地元経済における日本企業の貢献をアピールしたことで、サプライチェーン再構築を含めて、日本企業の役割や日米連携が重要であることを認識させることができた。

## 日時等



- 実施日時: 2024年2月28日(水)
- 実施場所: Kome Sushi Kitchen(オースティン)
- 訴求対象: **カーク・ワトソン・オースティン市長**、日米経済協力関係者
- 開催規模: セミナー参加人数約60名

## 概要

- 輸出支援プラットフォーム・ヒューストン拠点(在ヒューストン日本国総領事館、JETROヒューストン事務所で構成)が主催し、**現地日本食レストランを始めとする日本食関連事業者による日本産酒類の利用を促進する取組**を実施。
- 本事業では、外国人日本食料理人を対象に、日本産酒類の卸売事業者や外国人料理人が日本産の酒類や水産物等の魅力を発信するセミナーやペアリングを実施。
- **カーク・ワトソン・オースティン市長**は、**日本とオースティンの関係が長年にわたり強化**されており、**日米間の更なる関係強化のためには本事業のような機会が重要である旨強調**。

## 効果

- **オースティン市のワトソン市長、同市経済開発担当部局、日米協会の幹部等、地域のキーパーソン**に日本酒を通じて話題を広げ、交流を進めることで、さらに**日本への関心を高める**ことができた。
- 日本産酒類に関心のある外食事業者(料理人等)を中心に日本食と日本酒を紹介することで、**イベントで提供した焼酎のメニュー化や、参加した外食事業者(レストラン)での採用のためのサンプリングの実施等が決定**するなど、**同地域への日本産酒類等の商流開拓**を図ることができた。



## 日時等



- 実施日時: 2024年3月18日(月)
- 実施場所: サンアントニオ市植物園・ベティ・ケルソセンター(テキサス州サンアントニオ市)
- 訴求対象: 州政府関係者、企業関係者、日系財団、日本企業ほか
- 開催規模: 参加人数約130名

## 概要

- サンアントニオ市は、テキサスの堅調な経済成長の原動力とされる巨大地域経済圏「テキサス・トライアングル」で南テキサスに位置し、**日本企業が生産した製品を、テキサスを含む全米に運ぶ物流拠点**として重要。このため、同市において、**南テキサス日米経済協力強化に係るワークショップ**を開催。
- **ヘンリー・シスネロス元連邦住宅都市開発長官、ピーター・サカイ・ベアー郡長官、アドリアナ・ガルシア・サンアントニオ市議会議員、ベス・コストロ・元サンアントニオ市国際部長**がスピーチを行い、**日米交流と地域の経済関係が強化**されていることを印象づけた。

## 効果



- スピーチでは、**日系企業は地域の経済発展に欠かせない重要な役割**を果たしており、例えば、トヨタ自動車の製造工場の投資により、同市では約7000人以上の雇用が創出され、産業が振興しビジネスが発展したこと、熊本市・サンアントニオ市の**姉妹都市関係**等による関係強化から大きな恩恵を受けていることが述べられた。
- これらの事例は、この**地域の対日関係重視を具現**しているとの声が寄せられるとともに、日本企業関係者からは、**同市の日本と日本企業誘致に対する熱い思いを直接聞くことができ、感銘を受けた**、との感想を聞くことができた。

## 日時等



イベント招待状

- 実施日時: 2023年11月11日(土)
- 実施場所: アイダホ州ボイジー市内 JUMP
- 訴求対象: アイダホ州ビジネス関係者(半導体、食品分野等)、州議会・政府関係者、大学関係者等
- 開催規模: 約90名

## 概要

湯崎広島県知事による  
ビジネス・プレゼンテーションJETROサンフランシスコに  
よるビジネスサポート紹介広島県産を中心とした  
日本酒テイスティング日本酒製造過程や酒蔵  
紹介のプレゼン広島県知事、州議会、  
近隣市町、州政府幹部  
等多くの要人が参加

- 本事業は、**アイダホ州の半導体大手マイクロン社が広島県への大型投資を発表し、同州と同県の連携が急速に深まる中、湯崎広島県知事の同州訪問の機会を捉えて開催。**
- 広島県のビジネス環境や食の魅力等について、湯崎知事自ら英語でのプレゼンを実施。JETROサンフランシスコ事務所からも米国企業の日本進出時のサポート等について紹介。
- 日本酒は広島県の名産であり、また、アイダホ州は日本酒市場の未開拓地域であるとともに今後人口増加が見込まれる地域であることから、日本酒の製造過程や酒蔵などの紹介とともに、同州初上陸となる広島産プレミアム日本酒の試飲会を併せて実施。

## 効果

- 主な訴求先である**アイダホ州ビジネス関係者(半導体等)**だけでなく、**同州議会議長、近隣市市長、同州商務局長等**が参加したことで、**半導体分野を中心とする日アイダホ州間の連携強化に寄与。**
- 同社は日米の大学等と連携した半導体人材育成プログラム「UPWARDS」にも注力していることから、**日米の大学関係者や同プログラム参加日系企業も招待し、将来の連携強化のための人脈形成に貢献。**
- 様々な日本酒を紹介することで、日本食とのマッチングだけにとどまらない日本酒の奥深い魅力を披露。

## 特記事項

- 本イベントは、今後重要性を増す日米半導体のサプライチェーン強化に向けて、日アイダホ関係者との連携強化に活用された。

# 日オレゴン経済連携強化イベント「古民家・焼杉フェスティバル」 【在ポートランド領事事務所】

## 日時等



イベント・フライヤー



古民家再生事業者による古民家の魅力プレゼン



米国建築家による、屋外での古材鉋がけデモンストレーション



子供向けの古民家移築ワークショップが大人気



郊外の会場だったが、カナダからの参加者を含め約300名が参加する盛況

- 実施日時: 2023年11月5日(土)
- 実施場所: オレゴン州キャンプ・コルトン
- 訴求対象: 米国一般市民(移築古民家の購入関心層)、オレゴン州木造建築関係者、物流関係者等
- 開催規模: 約300名

## 概要

- 本事業は、**環境負荷低減やリサイクル、日本への関心も高いオレゴン州**において、古民家の歴史や世界感、日本の物づくりや古民家の再生利用・移築というプロジェクトを紹介。
- 日本の歴史、文化、技術に彩られながらも、失われつつある古民家やその建築材、**大工技術の現状を環境意識の高い米国市民に知ってもらう**とともに、米国の住宅建築関係者と協力・連携し、**米国向けの古民家移築事業を推進**しており、**今後、日本の伝統的再生建材である「焼杉」の紹介・販売を予定**。
- 実施会場をビジネス・エリアとするのではなく、自然豊かな郊外のキャンプ場(ポートランドから車で約1時間)とすることで、古民家イメージを崩さず、古民家購入の感心層に共感を得られるよう工夫。

## 効果

- **古い物を大事にするオレゴンの文化が古民家再生プロジェクトと共鳴**する形で、当日はカナダからの参加者を含む約300名が来場するなど、非常に大きな反響。
- 主な訴求先である古民家購入の感心層だけでなく、**米国の木造建築団体からも日本の古民家移築技術に大きな関心が寄せられた**。同協会傘下の大工が移築作業を支援するなど、**日米の建築家の連携が進んだ**。

## 特記事項

- 本イベントは、今後重要性を増す**日米間の物流サプライチェーン強化**や**環境負荷低減**と日米双方のビジネス発展に向けて大いに活用された。

## 日時等



## 概要

- 実施日時: 2023年4月1日から2024年3月31日まで
- 実施場所: マサチューセッツ州ケンブリッジ  
ケンブリッジ・イノベーションセンター(CIC)
- 訴求対象: 在ボストン総領事館管轄地域の米国人
- 開催規模: 数百人規模

- 日系企業の事業サポートやCICで開催される各種イベントにて日系企業の商品や技術のPRを目的に、2017年4月より**CICに在ボストン総領事館のサテライトブースを設置**している。
- 同センターは日系企業が約30社が入居するコワーキングスペースであり、日頃から各入居企業との情報交換を行い、日系企業のプレゼンス向上に寄与している。
- 同年9月に企業支援組織である同センターにて、**再生医療等製品に関する協業事例紹介及び日米での協業やパートナーリング誘起に向けたピッチイベントを開催**。鈴木在ボストン総領事、鈴木邦彦氏(再生医療イノベーションフォーラム特定細胞加工物等委員長)から挨拶があった他、**日立ハイテクアメリカ、サイフューズ、ローツェライフサイエンスから再生医療製品開発に関するプレゼンテーション**を実施した。
- ボストン及びケンブリッジ地域からもスタートアップ、インキュベーター、投資家などエコシステムを形成する組織・企業からの積極的な参加があった。

## 効果

- 上述9月のイベントでは、**100名を超える日米の再生医療分野及びライフサイエンス関係者が参加**し、日米双方の参加者から**人脈形成、ビジネス拡大の機会**を図る上で貴重なイベントであったと好意的な反応があった。

## 日時等



- 実施日時: 2023年11月29日(水)から12月10日(日)まで
- 実施場所: マサチューセッツ州ボストン、ケンブリッジ
- 訴求対象: ボストン総領事館管轄地域内に居住する米国人
- 開催規模: 1,000~2,000人規模

## 概要



- 日本の食文化の一つであるラーメンの定着化及び現地での日本食の需要の発掘を目的として、ボストンの主要な日系ラーメン店8店舗と共催して、昨年度に引き続き**ラーメンスタンプラリー「Boston Ramen Crawl 2023」を開催**。
- 本事業に参加したラーメン店の一定の軒数で飲食した来場者に対して、日本に因んだオリジナルの記念品(手拭い及び特製前掛け)を提供。
- マサチューセッツ工科大学(MIT)等の大学、ケンブリッジ・イノベーションセンター(CIC)、航空会社や食品メーカー等の**日系民間企業からの協力も得て、当該イベントの広報を実施**。幅広く日本食の文化を知ってもらう機会となった。

## 効果



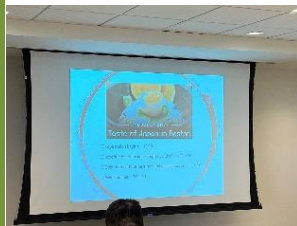
- 総領事館のホームページやFacebook等のSNSに加え、現地の民間企業等にも個別に幅広く周知。
- 想定以上の来場者があり、開催から2週間経たずに記念品がなくなるなど大きな反響があった。
- 参加者のうち約20名にアンケートを実施したところ、「イベントに満足した(5段階評価4以上)」が95%であった。また、多くの参加者から「日本のラーメンを知る良い機会であった」、「継続的に開催してほしい」等のコメントがあった。

## 日時等



- 実施日時: 2023年11月13日(月)
- 実施場所: マサチューセッツ州ボストン
- 訴求対象: ボストン総領事館管轄地域の飲食ビジネスオーナー
- 開催規模: 約80名

## 概要



- 日本貿易振興機構(JETRO)との共催で、**日本産食品の試飲試食・商談会**「Taste of Japan in Boston」を開催。JETROのサンプルショールーム事業への出展者など16社が出展し、レストラン、ホテルなどのバイヤー等約80名が参加した。
- 出展者のブースに加え、米国の著名シェフ数名による**日本産食材を用いた試作品の提供**が行われた。
- また、**日本産水産物のプロモーションブースを設置**し、ボストンの日本食料理店のオーナー兼シェフで、「日本食普及の親善大使」を務める大賀亨氏が、ホタテやブリを使ったメニューをバイヤーに提供した。

## 効果



- 出展者や参加バイヤーからは、「**日本産食材・食品に特化したボストンエリアでの商談会は、過去に例がなく貴重な機会**だった」、「シェフによる試作品で日本産食材の新たな活用方法を知ることができた」、「ボストンでの日本のプレゼンスがこれほど大きいとは知らなかった。日本酒をもっと勉強したくなった」といった声が聞かれた。
- 共催のJETRO関係者からも、来場者数はじめ想定以上の手応えがあった旨評価。
- 日本食料理店数の伸び率が2018年から2022年にかけて約150%と、日本食料理店数上位15州の中で3番目に高い地域であるマサチューセッツ州で、**日本産食品の更なる需要拡大に資する機会**となった。

# 日本ハワイ姉妹サミット・レセプション

【在ホノルル総領事館】

## 日時等



挨拶をするグリーン・ハワイ州知事と佐藤茅・ヶ崎市長

- 実施日時: 2023年7月27日(木)
- 実施場所: 在ホノルル日本国総領事公邸
- 訴求対象: ハワイ各市郡長、ハワイ州及び州内各市郡と姉妹友好関係にある日本の地方自治体首長、現地日系人関係者、経済関係者他
- 開催規模: 招待客約400名

## 概要



ホノルル市姉妹友好関係首長及びコードウェル元ホノルル市長

- 新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた交流やビジネス活動の本格的な再開促進に向けたハワイ日米協会の「日本ハワイ姉妹サミット」開催の機会に、**総領事公邸を活用し、交流レセプションを実施。**



アイヌ舞踏(北海道庁協力)

- 各県産日本酒の提供、ホノルルに拠点を置く各県人会のブース出展、アイヌ舞踊や沖縄獅子舞等、地方の魅力を体験・発信。

- **州知事や現役首長、地方議会関係者に加え、ハワイ側元知事・元市長等これまで姉妹友好関係を築いてきた先人や関係者が一堂に会する貴重な機会となった。**

## 効果



日本酒を楽しむロス・ハワイ郡長及び同郡職員

- 各首長をはじめとする参加者に感想を聴取したところ、他自治体の取組を知り、連携強化や親睦を深める機会になったとの多くの好評価や次回開催の要望もあり。



県人会ブース(北海道)

- **ハワイの主要メディアや日本の報道機関(NHK等)で姉妹サミットおよび同レセプションの様子が報じられ、自治体間交流の連携強化を発信することができた。**

- 姉妹サミットを機会に**総領事館SNSで各自治体間交流を紹介したところ、多くの高評価が得られた**(X(旧Twitter): インプレッション数3,170以上、Facebook: 約450のいいね! 等)。

## 特記事項



ハワイとの交流再加速へさまざまな分野の連携強化で会議

2023/7/28(日) 12:01:49

日本国内での報道(NHK)

- ハワイ州・道県間及び州内各市郡・市区町間の姉妹友好関係を結ぶ、30の地方自治体の盛んな交流を強化する機会となった。

## 日時等



- 実施日時: 2023年11月12日(日)
- 実施場所: フロリダ州キシミー市レイクフロント公園
- 訴求対象: 中央フロリダ地域の米国人
- 開催規模: 12,500人

## 概要



- オーランド日本祭りはオーランド日本人会主催で2001年から実施され、年々規模を拡大し、**フロリダ州最大の日本祭り**となっている。
- ステージでは、**オーランド太鼓道場**や**祭座**等、約100名による**太鼓**、**日本舞踊**、**空手**、**琴**、**コスプレコンテスト**等、日本文化に関連したパフォーマンス等を実施。
- 本年は例年を大きく上回る約12,500人の来場者を記録し、**日本文化及び日本の技術を発信する貴重な機会**となった。

## 効果



- 米国三越等の現地で事業を行う日系企業が、日本に関連した商品を紹介するブースを出展し、**日本企業への親近感を高める効果**をもたらした。
- アンケートでは、本祭の満足度は5段階で平均4.6と非常に高く、次回も参加したいかどうかの質問に対しても5段階で平均4.6と同じく高い結果となった。
- **参加者からのコメントも好意的なものが多く寄せられた**。具体的には、「フロリダでの祭に何度も足を運んでいるが、これだけ大規模で壮大な太鼓パフォーマンスは見たことがなく、非常に壮観であった」、「この祭では様々な日本食にトライすることが出来るので、**日本食に触れる機会の少ないオーランドにおいて貴重な機会**」といった声があった。
- メディアからの取材も多くあり、**イベント後、現地メディアで、本祭りに関する記事が13件掲載**された。



# マイアミデード郡アジア系米国人諮問委員会との 交流レセプション

## 【在マイアミ総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2023年6月29日(木) 18:30~20:30
- 実施場所: マイアミ総領事公邸
- 訴求対象: マイアミデード郡アジア系米国人諮問委員会メンバー、現地アジア系領事団
- 開催規模: 約30人

### 概要



- 中井総領事が挨拶を行い、本年のマイアミデード郡アジア系米国人諮問委員会設立25周年に祝意を表するとともに、**アジア地域に関する知識の普及やアジア系住民の地位向上**等の同諮問委員会による貢献に感謝の言葉を伝えた。
- 特に新型コロナの感染拡大に伴って、アジア系住民に対する差別やヘイト・クライムが発生したことを想起し、**一層の相互理解や共存社会を促進していくことの重要性を強調した。**
- 公邸料理人による日本食や日本酒をふるまい、アジア系米国人諮問委員会メンバーや、アジア諸国の領事団に対し、**日本食文化の魅力を発信した。**

### 効果



- 新型コロナウイルスの感染拡大中に休止していた本事業を再開することで現地アジア系コミュニティとの連携を再確認する機会となった。
- マイアミデード郡アジア系米国人諮問委員会のメンバーだけでなく、現地アジア系領事団(バングラデシュ、トルコ、イスラエル)を招き、**アジア系米国人とのネットワーク構築**を通じて**日米の友好関係強化に貢献した。**
- また、現地日本商工会議所の幹事(ヤマハ、丸紅、近鉄エクスプレス)を招き、**現地で活動する日系企業をPRし、今後の協力を模索する良い機会**となった。
- 公邸料理人による日本食(うざく、筍、鴨治部等)や本邦購送による日本産酒類の提供は非常に好評で、**日本食の認知度向上及び普及**等に貢献した。

## マイアミデード郡貿易ミッションの訪日の機会を捉えた日・フロリダ ビジネス関係強化のためのレセプション 【在マイアミ総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2023年11月15日(水) 18:00~20:30
- 実施場所: 在マイアミ総領事公邸
- 訴求対象: レヴィン・カヴァ・マイアミデード郡長を含む郡政府高官、広域マイアミ圏商工会議所会員企業、マイアミ空港・マイアミ港代表者等
- 開催規模: 約50人

### 概要



- マイアミデード郡は米国17の州を超える予算・経済規模を持つ大経済圏である。同郡がレヴィン・カヴァ郡長を団長として、貿易ミッションを日本に派遣する機会を捉え、日フロリダビジネス関係を一層強化することを目的として開催。
- **日・フロリダ間ビジネス協力に関する議論**を行うとともに、**郡政府関係者及び代表団との人脈構築を図るもの**。
- 中井総領事が挨拶を行い、2018年以来初の郡貿易ミッションの訪日を実現することへの歓迎を表し、**同郡が持つ優れた投資環境、新興分野等でのビジネスの発展の潜在性や、横浜港とマイアミ港との姉妹港協定の締結をアピールし、日本企業の投資誘致につなげてほしい旨等述べた。**
- さらに、ALPS処理水の放出に関連した風評対策のため、JETROと協力し、日本産水産物PR予算を使用して日本産水産物を使った食事を提供した。

### 効果



- 訪日を前に、郡政府関係者や空港・港代表者等の貿易投資ミッション代表団との連携が強化され、東京・マイアミ間直行便就航の可能性を含め、多様な**日・フロリダ間のビジネス協力**に関する議論が活発に行われた。
- また、マイアミデード郡の運輸交通、廃棄物管理、インフラといった多様かつ**具体的な産業分野に関し、対面で話す機会を得る**ことにより、日フロリダ間のビジネス協力、ビジネスチャンスについて具体的なイメージを想起させ、貿易投資ミッションの成果をさらに高める機会とすることが出来た。

## 日時等



- 実施日時: 2023年6月15日(水)、8月3日(木)、10月4日(水)、2024年2月21日(水)
- 実施場所: ロサンゼルス市内(公邸、全米日系人博物館(JANM)、ジャパンハウス等)
- 訴求対象: 主に若手日系人ビジネス関係者
- 開催規模: 約210名

## 概要



- 日米関係に関心を持ち、多様な分野で活躍する日系4世を中心とした **LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiative** やそのサブグループとの共催にて、**日米におけるビジネスシーンでの女性活躍や政治等をテーマとしたイベント**を実施。
- カケハシプロジェクトによる訪日を通じた学びや、どのように現地の日系コミュニティに還元するかというテーマでのプレゼン・質疑応答を実施(第4回目)。
- 各セッション後にはネットワーキングのためのレセプションを開催。

## 効果



- LA Next Generation Japanese American Leaders Initiativeは未来の日米関係の中軸を担う若手日系人の育成を目的としており、本イベントは、**若手日系人リーダーにとって、若手日本人ビジネス関係者との中長期的な関係を構築する契機となった**。
- リベラルな雰囲気強いロサンゼルスにおいても、女性やその他マイノリティに関する課題はまだ多く、さらなる取組や支援が求められている。第1回目のイベントでは、**日本政府がダイバーシティ・女性活躍推進を重視していることを発信**でき、現地の人々の日本政府の政策への理解促進とイメージアップに繋がったと考える。

### 日時等



- 実施日時: 2024年3月5日(火)
- 実施場所: ジャパン・ハウス(ロサンゼルス市内)
- 訴求対象: 各メディア、エンターテインメント業界、インフルエンサー、各コミュニティ団体等
- 開催規模: 120名

### 概要



- 日系4世グループのエンターテインメントサブグループとの共催により、**日米間両国のエンターテインメント業界で活躍するリーダーや会社を繋ぎ、日米間のエンターテインメントにおける交流を拡大させることを目的としたJX'24(ジャパックスオーバー2024年)を開催。**



- ジャーナリストのジェン・ヤマト氏(元ロサンゼルス・タイムズ紙記者・評論家)をモデレーターに、「君たちはどう生きるか」を含むスタジオジブリ作品の配給会社であるGKIDS President のデイビッド・ジェステッド氏とSony Innovation Studios (SIS)のSenior Vice President and Headの中山雅貴氏が「ハリウッドにおける日本のエンターテインメント」についてパネルディスカッションを実施。



- 米国と日本のエンターテインメントや文化の架け橋となる重要な貢献者に対して表彰も行われた。

### 効果



- 米国のWebメディアや、インフルエンサー、同イベントでパフォーマンスを披露したソニックシンフォニー、音楽部門のグローバルアチーブメント賞を受賞した新しい学校のリーダーズのSNSにて拡散される等、**日本・ロサンゼルス双方において日本のコンテンツやテクノロジーの発信が広く行われた。日米相互理解を通し、米国における日本の経済促進に資する事業となった。**



- 参加した**日系企業は米国企業と繋がり、今後の事業に関して具体的な話ができ、また、今までこのようなコミュニティがなかったため積極的に活用したいなど前向きな意見が多数あった。**

# 日本企業とアフリカ系コミュニティのビジネスネットワークイベントの開催

## 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2024年3月14日(木)
- 実施場所: 全米日系人博物館(JANM)(ロサンゼルス市内)
- 訴求対象: 現地アフリカ系コミュニティのメンバー約45名、南カリフォルニア日系企業協会(JBA)会員及び現地の日系企業関係者約20名
- 開催規模: 約110名

### 概要



曾根総領事挨拶



ドーソンLA市議会副議長挨拶



パネルディスカッション

- アフリカ系コミュニティにおける日本の環境ビジネスへの取組に対する認知度を高め、市場拡大等を支援することを目的に、現地の**アフリカ系コミュニティを対象に、南カリフォルニアの日系企業が取り組む環境ビジネス(水素及びコンポスト食器)を紹介するイベントを開催。**
- **カケハシプログラムで2月に訪日したアフリカ系若手ビジネスリーダー4名も参加。**訪日中の日本企業への訪問内容と、彼らと日本企業の今後の連携等に関するパネルディスカッションを実施した。
- カケハシプログラムで訪問した名古屋の郷土料理や日本酒(瀬祭)、ビール、ソフトドリンクを提供し、日系飲食業にとって消費者市場拡大の良い機会となった。

### 効果



日系企業プレゼン(丸紅)



日系企業プレゼン(日本水素フォーラム)

- カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校やロサンゼルス市長オフィス、ロサンゼルス市議会、有力なアフリカ系コミュニティであるアーバンリーグからアフリカ系有力者の参加があり、現地**アフリカ系有力者に対して、日系企業の取組をアピールする良い機会**となった。
- 参加者から、**日本の環境技術への理解が深まったというコメント**が多く聞かれ、**今後の協力の機会への高い期待**が寄せられた。

### 特記事項



会場の様子

- 車社会により深刻な渋滞が慢性化する現地において、水素自動車等、**日本企業が気候変動・エネルギー対策に取り組む姿を産官学に幅広くアピール**することができた。

## 環境国際会議「VerdeXchange」のレセプション開催

【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



- 実施日時：2023年4月30日（日）
- 実施場所：総領事公邸
- 訴求対象：州・地方政府関係者、環境関係有識者、日米企業関係者
- 開催規模：約250名

## 概要



パネルディスカッション



曾根総領事による挨拶



レセプションの様子



日本酒類PRの様子

- 環境シンクタンクVerdeXchange Institutesが主催する環境国際会議「Verdexchange」には、多数の米国政府関係者、環境関係有識者、企業関係者等700名以上が参加しており、ロサンゼルス総領事館では、2008年の第1回会議より、関連団体・企業の紹介、公邸レセプションの開催等、様々な形で本イベントと連携し、日系企業支援を行ってきている。
- 本会議に先立って、環境問題に対し意識の高いカリフォルニア州の関係者等に、**環境分野における日本の技術力を示し、技術連携や事業協力等の支援やビジネス機会創出を図ることを目的とし、政府・企業の要人を招いたパネルディスカッション、レセプションをロサンゼルス総領事館主催で開催。**
- また、連邦政府や州議会関係者、米系大手企業幹部等が多数出席する機会において、日本食に加え、日系企業ベンダー等による日本酒類（日本酒、焼酎、ウイスキー等）のプロモーションを行った。

## 効果



日系企業や日本食PR



- JETRO及びNEDO（（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構）との協力の下、**水素関連技術等の先進的な環境技術を中心とした日系企業のブースを設置し、プロモーション及び関係者とのネットワーキングの支援等を行った。**
- **日本の環境関連技術の発信**を行ったほか、日本の食文化も紹介する機会となった。

# アリゾナ州におけるビジネス・投資環境調査プログラム 【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2024年2月22日(木)~23日(金)
- 実施場所: アリゾナ州フェニックス大都市圏
- 訴求対象: 米国への進出や投資を検討する日系企業や、アリゾナ州でのビジネス拡大を検討する米国既進出日系企業、現地政府、ビジネス関係者等
- 開催規模: 計73名の視察プログラム参加者、及び、約150名のレセプション参加者

## 概要



曾根総領事による挨拶



アリゾナ商務局(ACA)  
サンドラ・ワトソンCEO



進出済日系企業による  
パネルディスカッション



VIプレセプションの様子



アリゾナ州立大学訪問

- **アリゾナ州では、半導体関連会社の進出や追加投資が相次いでおり、第2のシリコンバレーとして注目が集まっている。半導体は「行動計画3.0」でも重視するイノベーション・科学技術分野の一つ。**
- 本プログラムでは、米国への進出や投資を検討する日系企業や、アリゾナ州でのビジネス拡大を検討している米国既進出日系企業等を対象に、**アリゾナ進出企業訪問、企業向け大学研究施設への視察訪問、経済開発公社、教育機関によるビジネス・雇用環境の説明会、現地政府、ビジネス関係者等との交流会等**を開催した。
- 視察訪問先には、台湾TSMC社や米インテル社、米アムコー・テクノロジー社が新工場の建設や施設拡張を続けている**半導体関連企業による業界動向プレゼン**が含まれたほか、**半導体研究施設を提供して企業連携プログラムを設けるアリゾナ州立大学によるプレゼン**や、**半導体コンサルタントによるブリーフィング**や**生活環境に関する説明**等が行われた。
- また、同州に既に進出済みの日系企業によるパネルディスカッションでは、進出先都市との連携による利点や、人材確保の課題点などが議論された。

## 効果



VIプレセプションの様子

- 日系企業計43社(参加者73名)による参加があり、**アリゾナ大都市圏における投資・ビジネス・生活環境を視察する機会**となった。
- VIプレセプションには現地政府関係者を含む多くの参加があり、政府関係者や経済団体、関連米国企業と日系企業との更なる関係強化を図ることができた。

# 「セレクトLA投資サミット2023」における日系企業支援 【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



パークロサンゼルス  
市議による挨拶



ネットワーキング



## 効果

- 実施日時: 2023年4月27日(木)
- 実施場所: カリフォルニア州ロサンゼルス郡パサデナ(Pasadena Hilton)
- 訴求対象: 米連邦・州・市政府関係者、企業関係者
- 開催規模: 約500名

- 2011年に対米直接投資を促進するイニシアチブ「SelectUSA」が大統領令で発令され、連邦レベルでリーマン・ショック以降の雇用状況を改善するための海外直接投資(FDI)の促進が行われている。ロサンゼルスでは、ワールドトレードセンター・ロサンゼルス(WTCLA)主催で、毎年「セレクトLA」が開催されており、本年で第9回目。
- **米連邦・州・市政府関係者や企業関係者が参加する本イベントを通じて、日系企業の地域経済貢献の具体例をブース出展や、企業の登壇支援を行い、日系企業の存在感を波及させることを目的として実施。**
- 2023年版「カリフォルニア外国直接投資報告書」も発表され、今回も**日本が最大投資国(報告書作成以来8年連続)**として紹介された。

- 南カリフォルニア日系ビジネス協会(JBA)と協力し、**カリフォルニア州での最大の投資国として活動する日系企業の具体的な取組の一例を発信できた。**
- **更に、新たなビジネス機会の創出のためのネットワーキングの場を提供できたほか、日系企業のパネリストとしての登壇を支援することを通じて日系企業の活動を周知させることができた。**

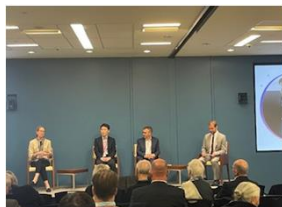


## 日時等



- 実施日時: 2024年1月18日(木) 10:00~16:00
- 実施場所: カリフォルニア州サンタモニカ (ハイブリッド形式)
- 訴求対象: 南カリフォルニアの量子関係研究者、大学関係者、学生、一般聴衆
- 開催規模: 約230名(内オンライン参加は145名)

## 概要



- **量子科学分野**の研究は、今日最も注目される分野の一つであり、日本政府としても、基礎研究分野に加え様々な分野での実用化を推進。
- 「**行動計画3.0**」においてもバイデン政権の優先課題であるイノベーション・科学技術の一例として挙げられている同分野の**日米の研究者間の交流を促すべく、現地の学术界を中心に我が国の政策内容を発信**。
- 午前に基礎研究分野での複数の研究者による発表を行い、午後にビジネス界で実用化を進めている関係者による発表を行った。
- 日本からは、NTT Research, Inc.の五味代表取締役、カリフォルニア工科大学留学中の博士課程の学生(QUADフェロウシップメンバー)の他、ビジネス界からは、NanoQT社の基盤晃久共同創設者らが登壇。

## 効果

- 世界最先端の基礎研究分野とビジネス界における実用化事例が紹介され、**カリフォルニアにおける量子分野の学術研究関係者の交流が行われ、今後の関係構築・強化のきっかけを作ることができた**。
- 基調演説を行ったIBMのJay Gambetta氏が、IBMと慶応義塾大学及び東京大学との取組を紹介したほか、日本の登壇者から、日本における量子の取組や研究等が説明され、**日本が量子科学を牽引する国の一つであることを示すことができ、「行動計画3.0」に資する案件となった**。

## 日時等



スタンフォード大学での講演



会場での動画活用



動画による紹介



動画内の水素サプライチェーンに説明



ブースイメージに係るデジタルデータ

## 効果



講演にて動画を見る米国関係者等

- 実施日時: 2024年2月20日(火)~3月29日(金)
- 実施場所: スタンフォード大学
- 訴求対象: 日米ビジネス関係者、政府・経済団体関係者等
- 開催規模: 80名

- 米国連邦政府が水素ハブを国内7拠点の1つとしてカリフォルニア州を選定する等、同州では水素を始めとする気候変動への関心が非常に高い。また、**気候変動・エネルギーやクリーンエネルギー、日米サプライチェーン協力強化は「行動計画3.0」の重点分野**。
- 本事業では、日系企業が有する水素関連技術の事例等を紹介する動画を製作し、米国関係者等に対して認知を高める支援を実施。特に、日本水素フォーラム(JH2F)と連携して、**製造、運搬・貯蔵、利用の水素に関する各段階における具体的な技術を紹介**することで、視聴者に対して水素サプライチェーンに関する理解を深めることに取り組んだ。
- スタンフォード大学で開催された水素技術に関するワークショップにおいても、**日系企業の取組状況等の紹介を日本水素フォーラムの講演の場面で活用**。
- また、今後開催されるビジネスイベントの関係者に対して水素サプライチェーンの概要が把握できるよう、技術紹介を行うためのブースのデジタルデータを製作し、ビジネスイベントにおける日系企業による展示のイメージを創出。

- 米国関係者に水素サプライチェーンにおける日系企業の水素技術の具体例を示すことにより、**米国水素サプライチェーンにおける日系企業の貢献の発信及び水素分野における日米連携事例に形成に寄与**。「行動計画3.0」に資する案件となった。
- さらに、放映した動画に関心を持った米国関係者に対して、日本水素フォーラムの詳細な紹介を行うなど、**今後の日系企業のビジネス機会創出に一役買う取組**となった。

## 南カリフォルニアにおける姉妹都市との連携によるイベントの開催 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2023年10月6日(金) 15:00~17:00
- 実施場所: カリフォルニア州ロサンゼルス市
- 訴求対象: 主に南カリフォルニアの姉妹都市関係者、日系企業関係者及び学生
- 開催規模: 60名

### 概要



- 日本の都市と姉妹都市を締結しているカリフォルニア州(以下、加州)に所在する姉妹都市協会関係者が運営する非営利組織、**日カリフォルニア姉妹都市ネットワーク**(以下、CJSCN)と連携し、カリフォルニア州の**姉妹都市関係者・現地日系企業関係者・学生**参加による**ネットワーキングイベント**を実施。
- 基調講演では、次世代リーダーを代表し、サンディエゴ横浜姉妹都市ソサエティで活躍するオーウェン・ミラー氏より**VRなど先端テクノロジーを活用した姉妹都市交流の可能性**が紹介された。
- 後半は姉妹都市関係者、日系企業関係者、学生の混合による7つのグループに分かれて、**姉妹都市と企業の連携**等をテーマにグループディスカッションを行った後、ネットワーキングレセプションを実施し閉会した。

### 効果



- 本イベントを通じ、これまで交流する機会がなかった**姉妹都市関係者と日系企業関係者との関係構築**に繋がるとともに、**互いの活動について理解を深める機会**となった。
- グループディスカッションでは、**姉妹都市関係をベースとした日米関係が、今後、未来を担う学生やビジネスとどう結びつき発展させていけるのか**、参加者間で活発な議論がなされた。
- 基調講演に登壇した三木アリッサ氏は「日本を世界に」をミッションに掲げるフードテック事業・高級和菓子ブランドを立ち上げた経緯を紹介、技術力の高い日本企業とアメリカ市場を結びつけた**アメリカにおける日系スタートアップ企業の成功例**を示した。若年層参加者に**日米の友好関係が将来のビジネスに繋がる**ことを示せる機会となった。

## 日時等



- 実施日時: 2024年3月2日(土)
- 実施場所: カリフォルニア州立ドミンゲスヒルズ校
- 訴求対象: JETプログラム参加者や米国における高等教育での日本語学習者、南カリフォルニア日系企業協会(JBA)会員及び現地の日系企業
- 開催規模: 日本語学習者43名、現地日系企業14社



曾根総領事による挨拶



カリフォルニア州立ドミンゲスヒルズ校ゴメス現代言語学科長



JETプログラム同窓会バレンズエラ氏による挨拶



日系企業プレゼン



イベントの様子

## 概要

- 若年層への現地日系企業のプレゼンスを高め、消費者市場拡大等を支援するため、JETプログラム参加者や米国における高等教育での日本語学習者を対象に**南カリフォルニアの日系企業でのキャリアパスや業務概要、就職機会を紹介するイベント**をカリフォルニア州立大学のドミンゲスヒルズ校と開催。同校はカリフォルニア州に23のキャンパスを持ち、日本語学習や日本文化に対する学生の興味が高い他、サウスベイと呼ばれる多くの日系企業が集まる地域に位置している。
- アジア系アメリカ人が多く、日本に対する理解が深い現地では、日系企業にとって企業活動を行いやすい環境になっている一方で、**日本語に特化したキャリア形成の為の環境は必ずしも十分に整備されていないという課題を解決すべく、日本語スキルを活かしたキャリアパスの提供を目的としたイベント**となった。
- **日本文化や日本での働き方への理解・関心がある意欲的な人材を紹介する機会**ともなり、多くの日系企業が抱える人材確保及び定着等の課題の解決に貢献した。

## 効果

- カリフォルニア州立大学のみならず、コミュニティカレッジや日本語を活かせる就職先を希望する就労経験者含む43名による参加があり、現地の日系企業におけるキャリアパスを紹介する機会となった。
- 日系企業にとっても、**日本の技術・文化に知識や興味を持つ人材を確保するきっかけ**となった。

# 日系スタートアップ企業ピッチイベント

【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



曾根総領事による挨拶



JETRO津脇次長による挨拶



ガリーナ・アントバ氏のキーノート



スタートアップ企業によるピッチ

- 実施日時: 2023年10月19日(木)
- 実施場所: 総領事公邸
- 訴求対象: 米系投資家及び米系企業、「Beyond Japan Zero to X」の参加者である日系スタートアップ企業、同事業の協力企業、マスコミ関係者
- 開催規模: 約100名

## 概要

- JETROによるスタートアップ企業の育成プログラムである「Beyond Japan」事業では、ロサンゼルスやサンディエゴにおいて、個別メンタリングやセミナーが約2か月間行われ、**事業の要である投資家や企業へのピッチイベントとして本イベントを実施。**
- 開会式では、曾根ロサンゼルス総領事による挨拶、JETROロサンゼルス事務所津脇次長による挨拶と事業紹介、Plug & Play社のほか、ユニコーン企業であるClaroty社の共同創業者ガリーナ・アントバ氏によるキーノートスピーチが行われた。
- ピッチイベントには、「Beyond Japan」ロサンゼルスプログラムにおいて10倍以上の倍率で残ったスタートアップ11社が参加し、**米国投資家に向けてプレゼンテーションを行った。**
- プログラム後は、**スタートアップ企業と米系投資家や米系企業向けのレセプションを開催し、更なる商談や企業間マッチングの機会**となった。
- また、日本産水産物を利用した日本食や日本酒が提供され、**日本食・日本酒のプロモーション**を行った。

## 効果



ピッチイベントの様子



ネットワーキングの様子

- 日系スタートアップ企業各社の事業内容に合わせて招待された米系投資家36名ほか、ユニバーサル・ピクチャーズ、レッドブル、SAP、ディズニーなどの米系企業から19名、計55名のゲスト参加があった。
- ネットワーキングレセプションは、**各スタートアップ企業が直接投資家や企業と商談を行う機会**となった。プレゼンテーションでは紹介できなかったサービス案内や商談を行い、日系スタートアップの米国進出に向けた人材・ネットワークの構築や市場開拓に繋がった。